

△使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の部位には使用しないこと

顔面、粘膜（口腔、鼻腔、膣など）や陰股部（陰のうなど）



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (3) 患部が広範囲の人。
- (4) 深い傷やひどいやけどの人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この容器を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法を守ること。
- (2) 原液のまま使用しないこと。
- (3) 原液または濃厚液が皮膚に付着した場合は、炎症を起こすことがあるので、すぐ水で洗い流すこと。
- (4) 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗うこと。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること。
- (5) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- (6) 患部に軽く塗るだけにとどめ、ガーゼ、脱脂綿などに浸して貼付しないこと。
- (7) 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い流してから使用すること。

顔面、粘膜（口腔、鼻腔、膣など）や陰股部（陰のうなど）は敏感であり、本剤の刺激により痛みやはれなどがあらわれることがあるため、これらの部位への使用はできません。

共通事項解説〔3〕参照

共通事項解説〔5〕参照

患部が広範囲の人や深い傷やひどいやけどの人では、全身吸収による筋脱力を起こすことがあるため、専門家の指示のもとに使用した方が好ましいためです。

本剤の使用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には使用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

共通事項解説〔7〕参照

本剤は水で希釈して用いる殺菌消毒剤です。原液または濃厚液の使用により、皮膚・粘膜に刺激症状があらわれることがありますので、必ず定められた希釈倍数まで水で薄めて使用してください。

ベンザルコニウム塩化物（塩化ベンザルコニウム）には医療用の効能・効果として「結膜囊の洗浄・消毒」があり、その場合の使用濃度は0.01～0.05%とされています。濃い溶液が目に入ると刺激症状が起きることがありますので、目に入らないよう注意してください。

共通事項解説〔6〕参照

ガーゼ、脱脂綿などに浸して貼付すると貼付部位に刺激症状（接触性皮膚炎）があらわれることがありますので、貼付はさけてください。

普通の石けんやクレゾール石けん液は陰イオン活性であるのに対し、本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物は陽イオン活性をもつため、逆性石けんまたは陽性石けんと呼称されることがあります。逆性石けんは水に溶けたときに普通の石けんとはイオン解離が逆となるので、普通の石けんと併用しますと殺菌効果が減弱されます。従って、石けん類を使用した場合は、水洗いによって石けんを十分に洗い流した後に本剤を使用してください。

【使用上の注意】

【解 説】

共通事項解説はこちら

(8)外用にのみ使用し、内服しないこと。

保管および取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

(2)小児の手の届かない所に保管すること。

(3)他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。

(4)使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。

(5)皮革製品に付着した場合は、変質させることがあるので注意すること。

(6)染色した布地は退色することがあるので注意すること。

誤って、内服剤として使用しないための注意です。

共通事項解説〔9〕参照

共通事項解説〔10〕参照

共通事項解説〔11〕参照

共通事項解説〔14〕参照